

### 樽前ガローってなに？

ガローとは東北弁で「ガケの間を川が流れる場所」という意味です。その名のとおり両脇が絶壁状態の壁で、岩肌には60種類以上の新緑の苔が張り付いており、ピロードの絨毯のようです。その間を樽前川が流れる様子は清涼感にあふれた別世界になっています。

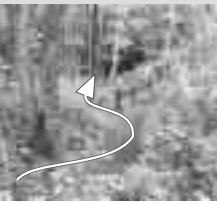
ガロー観察の最後のポイントです。ここからは川に降りることは危険です。



道が細いので車で走行は止めたほうが良いでしょう！



観察ポイント入口



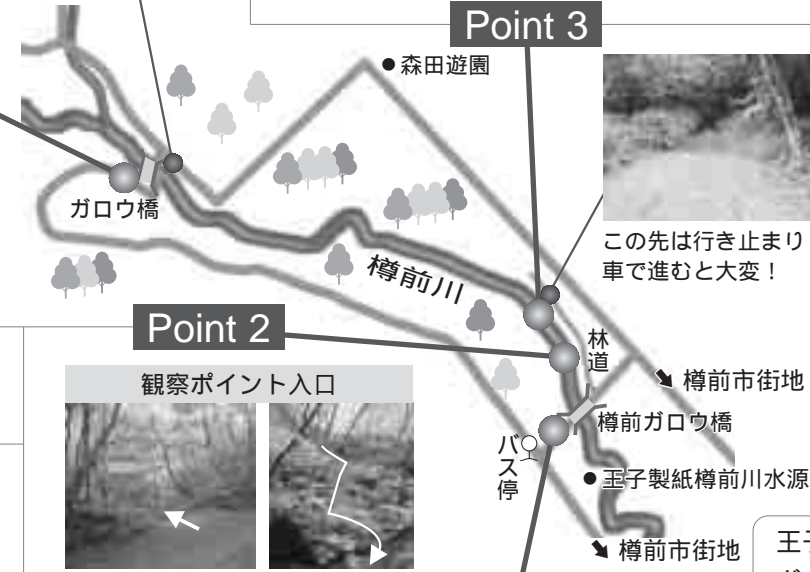
ポイントでの景色



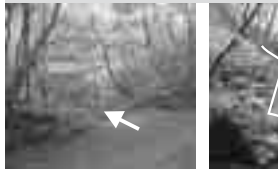
川岸に簡単に降りて川からガローを観察できます。両岸にそそり立つ岩壁に圧倒されます。

Point 3

森田遊園



観察ポイント入口



川岸での観察ポイントですが、急斜面で危険です。足場に気をつけて。

ポイントでの景色



Point 1

観察ポイント



橋の上から川を眺めてみよう。ガローを見ることができます。

ポイントからの景色



ポイントからの景色



ガローの苔



岩肌には一面に苔が生えており、緑の絨毯のようです。

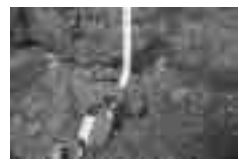
### 樽前ガローの出来上がった経緯は

樽前川の源である樽前山の影響によるもので、樽前山は過去何度も大噴火をくり返し、その噴火で発生した火砕流が山肌をなめ尽くし、谷を埋めなだらかなすそ野を作り上げました。樽前川はその火砕流が固まってできた溶結凝灰石を少しずつ侵食し、川の両脇の火砕流が削られることなく残ったため垂直の壁になりました。



### ちょっとチャレンジしてみました ガローの高さを測ってみよう！！

実際に行ってみると圧倒される程のガローの岩壁、どのくらいの高さか『観察ポイント3』で計測してみました！！



計測結果 5m15cm

この高さを計測



樽前ガローは国道36号から4kmほど樽前の住宅街を進むとある幻想的な空間です。



## Thema 3

# 樽前ガローに行ってみよう！

苦小牧の幻想的空間

切り立った岩壁と苔に囲まれた幻想的空間である「樽前ガロー」その空間を体感しに行ってみよう！

### 錦大沼に暮らす生き物たち

## Thema 2

# 錦大沼に行ってみよう！

苦小牧の野生生物の楽園

動物、昆虫、植物などの生き物たちの楽園「錦大沼」その豊かな自然の中に暮らす生き物たちを探しに行ってみよう！

- 昆虫 クワガタ、セミ、トンボ、チョウなど
- 魚類 コイ、ワカサギ、フナ、ウグイなど
- 野鳥 アカゲラ、ウグイス、ヒヨドリ、カッコウなど
- 動物 リス、キタキツネ、シカ、テンなど

### コイ発見！



沼の中ではたくさんのコイを見ることができます。写真のような綺麗な紅白模様のコイもいます。

### アカゲラ発見！



懸命に木をつつき虫を探すアカゲラの幼鳥がいました。

### リス発見！



木の上にはエゾリスもいます。撮影当日はかわいい姿を見せてくれました。

散策路入り口です。1周すると徒歩で約50分かかります。

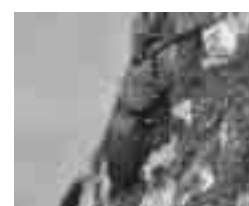


### ヘビ発見！



高速で移動するシマヘビがいました。かまれたら大変！気をつけて。

### クワガタ発見！



昆虫採集の王道であるクワガタがいました。ほかにも多くの昆虫が散策路で見られます。

### カメ発見！



2匹仲良く倒木の上で、甲羅干しをしているカメがいました。

カヌー基地です。ここからカヌーに乗ります。(手続きはアルテンで)



### ちょっとチャレンジしてみました カヌーに乗って沼を一周してみよう！

アルテンではカヌーの貸し出しをしています。1時間2,100円です



救命胴衣をつけ、カヌー基地からいざ出発！



沼に突き出す木の下をカヌーで通ってみました。



緑と水上を渡る風が心地良く気分爽快です！

カヌーで錦大沼を一周したら58分かかりました！

カヌーの持ち込みは禁止されていますのでご注意ください。